

大川とともに成長していききたい

彦寿し
龍野敏彰さん

住所 大川市榎津895-11
TEL 094418717272
店休日 不定休 ※要予約
HP <http://nikosusi.maih.jp/>

彦寿しの創業は昭和47年。現在まで47年以上大川で営業されています。

「創業時は、榎津の銀座通りで営業をしていました。それから現在の場所へ移転しました。大川市内にお寿司屋さん10数件ありますが、ランチを提供しているお店、お弁当の提供を行っているお店など個性や特色を生かして、営業しています。うちは、特に精進料理に力を入れて提供しています。また、大川市料飲組合もあり、組合員同士で協力することもありますね。おしほ

りが足りないときやシャリが足りないときに借りに行くこともありますよ」

今年、猛威をふるっている新型コロナウイルス。彦寿しでもその影響は大きかったのではありませんか。

「最大50名ほど収容できる部屋もありますが、今年はお宴会自体のキャンセルが相次ぎました。大川は企業関係、医療関係での宴会利用が多い土地柄です。新型コロナウイルスが流行し始めてから緊急事態宣言解除後までの宴会や町内会のお弁当の利用が完全にキャンセルになってしまい、大きな影響を受けましたね。齋場に精進料理を卸してもいますが、葬儀や法事も新型コロナウイルスの影響で3密を避けた形式をとられ、従来のような注文がなかったのも痛手でしたね」

8月はお盆の季節になりますが、今年のお盆はどうでしょうか。

「緊急事態宣言後は、お弁当

やテイクアウトでの料理の提供が増えました。特に大川エール館での文化センターでのお弁当の提供や、チラシを見た人や仕事帰りのテイクアウトの注文が増えましたね。本当に助かりました。食べに行く券も素早い対応で発行が決まり、助かっています。例年だと、お盆の注文が入っているところですが、まだ様子を見られているのかもしれないですね。食べに行く券の利用で、今年のお盆も美味しいものを食べていただけたらと思っています。当店としても、例年よりも早い段階で、チラシの作成も行いました。ぜひ大川の飲食店を利用していただけたら嬉しいですね」

では、龍野さんの夢は何でしょうか。

「地元密着で地元を大切にしたい。彦寿しを続けていきたいです。大川には、お世話になった方がたくさん居られて、その方々のおかげで続けてこれたと思いますね。その恩返し

ではありませんが、大川の発展や活性化に少しでも貢献していきたいと思っています。大川とともに生きていきたいとも思っています。この大川とともに成長していきたいという思いで仕事をしています」

※取材時…7月上旬



半精進折詰
お盆のご予約承り中



こだわりの料理を身近に

グラニーズ granny, s

土井 絵奈 さん

住所 大川市榎津734
TEL 094418818420
店休日 日曜・月曜・祝日
営業時間 12時～18時
通信販売サイト <http://grannys.thebase.in>
Instagram Facebook

グラニーズの土井さんにお話を伺いました。

グラニーズとは、おばあちゃんのことという意味のこと。「昔ながらの手作りの味や厳選した国産素材を使用し、また、保存料・着色料などを一切使用しないことにこだわって作っています。メインはハンバーグ、ローストビーフ、ビーフカレーなど和牛を使用した料理ですね」

大川でお店を始めて6年になる土井さん。



こだわりのオードブル ※要1週間前予約

大川ではあまりお惣菜屋さんは見かけませんが、どのような経緯で始められたのでしょうか。

「まずは、私自身、母親でもあるので、子供たちに添加物が入った料理を食べさせたくないという思いがありました。それと、近年ではホームパーティーを開かれるご家庭も増えている一方、周辺には、おしゃれな洋食デリがなかったため、ニーズがあるのではと思いました。料理への道は父がステーキ専門店を経営しており、小さいころからずっと料理する父を見たり、手伝ったりしていたので、お惣菜をたくさんの方に食べてほしいという思いから惣菜店を始めました」

今年、猛威をふるっている新型コロナウイルス。グラニーズでもその影響は大きかったのでしょうか。

「やはり大きかったですね。3月から4月に卒業式や送別

会、入学式の時期でオードブルやお弁当の予約が入っていましたが、全部キャンセルになってしまいました。さらに、一時は動きが止まったように、店舗への来客も少なかったですね。来客数が多い日と少ない日の波がニュースによって変わるような状況が続きましたね」

大変な状況のなかでも土井さんにとって前向きになれることもあったそうです。

「コロナ発生の前から自分で細々ながらネットショップを立ち上げていました。それが東京でヒットしたようで、5月の連休に反響があり、予想以上の注文をいただきました。召しあがったお客様から『外出できない中、レストランに行った気分を味わえた』とメールをいただいたのも、嬉しかったです」

日々素敵な料理を提供されている土井さん。



そんな土井さんの夢は何でしょうか。

「まずは二人の子供の母親なので、無事に子供たちを成人させることが一番です。」

新型コロナウイルスに関してですが、臨機応変に対応できるように、営業体制を整えることが重要だと考えています。また、市外にも目を向けて、通販も増やしていきたいと思っています」



土井さんイチオシのローストビーフ